



左:曲直瀬道山 右:徳川家康

「家康は、むし歯に  
悩んでいたのだろうか？」

高輪会は現在、約600の介護施設で、約1万人の患者様を、訪問診療しています。

医業とは、病を治し、心を癒し、人に愛されること。その為に、人間を学び、社会を学び、健康の「有り難さ」を学ぶのも歯科医の勤です。

戦国の日本を二つにまとめ、260年の平和国家の扉を開いた徳川家康。

彼の偉業の秘訣は健康にありました。

そしていつもメディカル・コンサルタントの

曲直瀬道山に医療のあり方を学んでいたのです。

全ての健康は、「歯の学び」から始まる。

高輪会は、訪問診療という  
新しい歯科医療の仕組みで、  
社会貢献を目指します。

医療法人社団 **高輪会**  
高輪会グループ  
**dentalcruise**

0120-648-714  
東京都港区高輪3-25-33 長田ビル4F

医療法人社団 高輪会  
www.takanawakai.or.jp



たどり着いた  
歯科訪問診療という形

約30年前に当時の大蔵省、厚生省、自治省の合意で「ゴールドプラン」が発表され、これからの日本は急速に高齢化が進む事を知り、都内にある複数の高齢者施設を見学しました。

当時は、入居されている車イスの方々や歯科医院を受診したくても、階段があったり、バリアフリーになっていなかったりといった理由で、受診できない状況でした。また、施設のスタッフも人手不足により、歯科医院に連れて行けずに困っていました。

当法人は、このような状況をなんとかしたいという思いで、日本で初めて組織的に歯科訪問診療を開始いたしました。

1993年に歯科訪問診療をスタートし、現在、全国に20診療所を拠点として約90台の歯科訪問車両を所有し、約600以上の高齢者施設を歯科医師、歯科衛生士、ケアアシスタントの3名で訪問しています。「訪問歯科として最高レベルの診療」を目指し、質の高い歯科診療と口腔ケアを行うことで、お口の健康と清潔を保つだけでなく、「食べる、噛む、飲み込む、話をする」口腔機能の維持と改善・回復も支援し、誤嚥性肺炎の予防にも寄与するよう努めています。

日本の高齢化率が約28%に達し、近年、学会でも「経口摂取の重要性」が高まっています。

また、高齢者になると誰でも筋力が低下します。学会では、サルコペニア（筋力低下）とオーラルフレイル（お口の衰え）が注目されています。口腔機能は、全て筋肉でできていますので、リハビリテーションも大変重要です。

これからも一人ひとりの患者様と向き合い、一人でも多くの方の「お口から食べられる喜び」のために、できる限りの努力をしていきたいと考えています。



星谷 淳一 Junichi Hoshiya

医療法人社団高輪会 理事・内部統制室長  
昭和58年(37年前)に入社し、5年間、歯科技工士として勤務後、本部に転属し、歯科訪問診療の立ち上げから関わる。